

第15期事業年度
(平成30年度)

決算報告書

自 平成30年 4月 1日

至 平成31年 3月31日

国立大学法人帯広畜産大学

平成30年度 決算報告書 (第15期事業年度)

国立大学法人帯広畜産大学

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算－予算)	備 考
収入				
運営費交付金	2,692	2,976	283	(注1)
施設整備費補助金	91	91	—	
補助金等収入	22	118	96	(注2)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	20	20	—	
自己収入	1,033	1,070	36	
授業料、入学料及び検定料収入	709	701	△7	(注3)
財産処分収入	—	11	11	(注4)
雑収入	324	357	32	(注5)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	368	541	173	(注6)
引当金取崩	—	1	1	(注7)
計	4,228	4,819	591	
支出				
業務費	3,713	3,730	17	(注8)
教育研究経費	3,713	3,730	17	
施設整備費	111	111	—	
補助金等	22	125	103	(注9)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	368	456	88	(注10)
長期借入金償還金	13	13	0	
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	—	5	5	(注11)
計	4,228	4,441	213	
収入－支出	—	377	377	

(注) 決算報告書は、百万円未満切り捨てにより作成しています。

(注) 「運営費交付金」には、前年度からの繰越分51百万円が含まれています。

○ 予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、予算段階では予定していなかった追加交付がされたことにより、予算額に比して決算額が283百万円多額となっています。
- (注2) 補助金等収入については、予算段階では予定していなかった補助金が交付されたことにより、予算額に比して決算額が96百万円多額となっています。
- (注3) 授業料、入学料及び検定料収入については、主として検定料収入が見込額を下回ったため、予算額に比して決算額が7百万円少額となっています。
- (注4) 財産処分収入については、予算段階では予定していなかった土地の譲渡が発生したことにより、予算額に比して決算額が11百万円多額となっています。
- (注5) 雑収入については、家畜診療及び農産物売払収入が見込額を上回ったこと等により、予算額に比して決算額が32百万円多額となっています。
- (注6) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、産学連携収入が当初の予定より82百万円増加したこと及び寄附金収入等が当初の予定より91百万円増加したことに伴い、予算額に比して決算額が173百万円多額となっています。
- (注7) 引当金取崩については、予算段階では予定していなかったPCB廃棄物の処理が発生したことにより、予算額に比して決算額が1百万円多額となっています。
- (注8) 業務費については、主として家畜診療収入見合いの支出が見込額を上回ったこと等により、予算額に比して決算額が17百万円多額となっています。
- (注9) 補助金等については、(注2)に示した理由により、予算額に比して決算額が103百万円多額となっています。
- (注10) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、(注6)に示した理由により、予算額に比して決算額が88百万円多額となっています。
- (注11) 大学改革支援・学位授与機構施設費納付金については、(注4)に示した理由により、予算額に比して決算額が5百万円多額となっています。